## 2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科目	区	分	専門基礎分野	授業の方法		講義
科目名	病気と薬		必修/選	፪択σ	別	必修	授業時数(単位数)	15	(1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び	ブ曜日	寺限	後期	教室名		406
担当教員	新井 篤史	実務経験とその関連資格	臨床工学技	支士とし	·て病	院で勤務			

### 《授業科目における学習内容》

生体に対する薬物の作用メカニズムを学び、疾病の治療への応用や有害事象/副作用について理解する。

# 《成績評価の方法と基準》

出席状況並びに筆記試験で総合的に評価する

## 《使用教材(教科書)及び参考図書》

新 医療秘書医学シリーズ 5 検査・薬理学

### 《授業外における学習方法》

テキストを読み予習する。授業内容をまとめ復習する。

### 《履修に当たっての留意点》

授美方	業の 法	内容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	薬理学総論(薬理学とは、薬理学の基礎知識)について学ぶ。	新 医療秘書医	テキストを読み予習す る。授業内容をまとめ復 習する。	
		各コマに おける 授業予定	薬理学総論(薬理学とは、薬理学の基礎知識)	学シリーズ 5 検査・薬理学		
第	講義	授業を 通じての 到達目標 無		新 医療秘書医	テキストを読み予習す	
	¥ 形式	各コマに おける 授業予定	薬理学各論(抗感染症薬)	学シリーズ 5 検査・薬理学	る。授業内容をまとめ復習する。	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	薬理学各論(抗がん薬、免疫治療薬)について、説明できる	新 医療秘書医	テキストを読み予習す る。授業内容をまとめ復 習する。	
3	我形式	各コマに おける 授業予定	薬理学各論(抗がん薬、免疫治療薬)	学シリーズ 5 検査・薬理学		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	薬理学各論(抗アレルギー薬・抗炎症薬)について説明できる	新 医療秘書医	テキストを読み予習す	
4	我 形 各コマに おける 授業予定		薬理学各論(抗アレルギー薬・抗炎症薬)	学シリーズ 5 検査・薬理学	る。授業内容をまとめ復 習する。	
寿   5	講義形式	授業を 通じての 到達目標	神経系に作用する薬物について説明できる	新 医療秘書医	テキストを読み予習す る。授業内容をまとめ復 習する。	
		各コマに おける 授業予定	神経系に作用する薬物	学シリーズ 5 検査・薬理学		

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第。	講義形	授業を 通じての 到達目標	心臓血管系に作用する薬物について説明できる	新 医療秘書医	テキストを読み予習す る。授業内容をまとめ復 習する。
第 6 回	形式	各コマに おける 授業予定	心臓血管系に作用する薬物	学シリーズ 5 検査・薬理学	
第 7 回	講義形	授業を 通じての 到達目標	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物について説明できる	新 医療秘書医	テキストを読み予習す る。授業内容をまとめ復 習する。
	<sup>我</sup> 形式	各コマに おける 授業予定	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物	学シリーズ 5 検査・薬理学	
第	講義形	授業を 通じての 到達目標	代謝に作用する薬物 ほかを説明できる	新 医療秘書医	テキストを読み予習す る。授業内容をまとめ復 習する。
第 8 回	我形式	各コマに おける 授業予定	代謝に作用する薬物 ほか	学シリーズ 5 検査・薬理学	
第 9					
) <u>[]</u>					
第					
10回					
第					
11 回					
第 12					
回					
第					
13					
第					
14					
第					
15					
第 15					